

「西のゴールデンルートSNS運用業務委託」に係る提案公募
に関する質問と回答

令和8年4月14日

項番	項目	内容	回答
1	仕様書p3-6-(1) 全体業務関連	「令和8年度 西のゴールデンルート広域観光促進のための戦略的プロモーション及びアライアンス運営等支援業務（仮）」の具体的な業務内容や、本業務との連携範囲を教えてください。	海外プロモーションにおける本業務との相互情報連携を想定しています。 具体的な業務内容は、現在公募中であり、下記のURLをご参照ください。 (https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/marketing/business/h_promotion__2026GR-promotion.html)
2	仕様書p2-2、p3-6-(2) SNSの運用	福岡市だけでなく、西のゴールデンルートに参画する全19自治体（神戸市～鹿児島市）をすべて現地取材・撮影で回る必要があるのか。	現地取材による素材制作は必須ではありません。 UGG活用のほか、参画自治体からの提供素材、フリー素材及び有料素材等の活用も可能です。
3	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	カメラマンやモデル等は「可能な限りネイティブスタッフを起用」とありますが、カメラマンを日本人とし、通訳を同席させる等での体制でも認められるか。	ターゲット層への訴求効果を重視する趣旨であり、ネイティブスタッフの起用は任意です。 投稿案または参考となるアカウントを提示してください。
4	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	年間65本以上のフィード・リール投稿すべてにおいて、モデルの出演が必要か。	モデルの出演については任意です。
5	仕様書p2-3、p4-6-(3) SNSアカウントの認知向上	現在、事務局で管理しているMeta広告アカウントはあるか。	ありません。

項番	項目	内容	回答
6	仕様書p4-6-(4) 事業効果の検証	現在、SNSアカウントの分析にはどのようなツールや指標を用いて運用しているか。	現状は、Meta Business Suiteからのインサイト確認のインサイトの確認のみで、アクセス計測用の専用ツールは活用しておりません。
7	仕様書p2-2 業務の趣旨・目的	「欧米豪旅行者及び高付加価値旅行者をメインターゲットに」とあるが、欧米豪の中で特に優先順位の高い国はあるか。また、高付加価値旅行者であれば欧米豪以外の英語圏の国（シンガポールなど）の旅行者も対象となる想定か。	欧米豪エリアをターゲットとし、国の優先順位は特に指定していませんが、本業務上のコアターゲットと考える層があれば、ご提案ください。 高付加価値旅行者は、観光庁の定義する「単に一旅行当たりの消費額が大きいのみならず、一般的に知的好奇心や探究心が強く、旅行による様々な体験を通じて地域の伝統・文化、自然等に触れることで、自身の知識を深め、インスピレーションを得られることを重視する傾向にある旅行者」と同義です。
8	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	作成するコンテンツ内で紹介する観光資源やスポットについては、西のゴールデンルート実行委員会に参画している19の自治体内にある施設等に限定されるか。もしくは、西日本・九州であれば、その他の自治体や地域の観光資源を紹介することも可能か。	投稿においては、参画自治体の観光資源等の紹介を原則としますが、テーマや内容に応じてそれ以外のコンテンツを紹介することを否定するものではありません。 具体的には、受託者決定後に協議のうえ決定します。
9	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	事業の中で投稿コンテンツ選定などの共通のヒアリング項目が各自治体にある場合、受託事業者が直接各自治体とやり取りをする必要はあるか。福岡市に取りまとめてもらうことは可能か。	原則として、本業務の進行管理及び連絡調整は受託者が実施する想定です。

項番	項目	内容	回答
10	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	投稿本数や取材回数において、各自治体ごとに均等になるように設計をする必要はあるか。	ターゲット層への訴求効果を重視し、投稿や取材において自治体間で均等とすることを必須とはしていませんが、共同事業であることを踏まえ、特定の自治体に偏り過ぎないように配慮した配信計画が必要と考えております。 具体的には、受託者決定後に協議のうえ決定します。
11	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	<ul style="list-style-type: none"> ・既存アカウント（Instagram・Facebook）の月別フォロワー数、リーチ数、エンゲージメント数の推移（令和7年度分） ・リール投稿およびカルーセル投稿の平均数値 ・主なフォロワー属性（国別・年代別） ・令和7年度の月平均投稿数 ・過去に反応が良かった投稿の傾向（テーマ、形式、エリア等） 	現時点で提供可能なデータについて、質問者全員に別途送信します。
12	仕様書p2-2 業務の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪の中で特に重点を置くべき国や地域はあるか ・ターゲットとする「高付加価値旅行者」の定義（年齢層、消費単価等） 	欧米豪エリアをターゲットとし、国の優先順位は特に指定していません。 高付加価値旅行者の定義については、問7の回答を参照ください。
13	公式サイト（英語）の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・月間PV数、国別アクセス状況、主な流入源 ・主要な閲覧カテゴリおよびコンテンツページ 	問11の回答を参照ください。
14	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	実行委員会に該当する各自治体の投稿頻度やバランスに関する制約の有無（県と市のカウント方法等）	問10の回答を参照ください。

項番	項目	内容	回答
15	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体からの提供想定ボリューム、提供フォーマット、申請手続きの有無 ・提供素材の編集や再活用の可否 ・共有方法（データ便やクラウドサービスの要否） ・確認・承認プロセスについて、 ・参画自治体への確認フローの詳細（企画案段階からの確認か、最終版のみか、日本語での確認か、英語での確認か等） ・承認に要する標準的なリードタイム 	<p>具体的な事務手続やフローについては、受託者決定後、提案内容に応じて、協議のうえ決定します。</p> <p>提供素材に係る自治体との調整も含め、本業務に係る連絡調整等については、受託者にて実施する想定です。データ共有は原則電子メールでのやりとりとしますが、容量が大きい場合はオンラインファイル転送サービス等を適宜活用ください。</p> <p>投稿の確認時は、日本語訳の添付をお願いします。承認期間は、内容により判断します。</p>
16	仕様書p3-6-(2) SNSの運用	<p>権利関係の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の撮影・掲載許諾、二次利用許諾（コラボ投稿、UGC等）の管理方法およびやりとりの記録引き継ぎの有無 ・自治体提供素材における施設許諾・肖像権確認の責任主体（自治体側か受託事業者側か） 	<p>令和7年度受託者との引継ぎを実施していただく想定です。</p> <p>提供素材のルールについては自治体により異なるため、受託者にて各自治体との調整をお願いします。</p>
17	引継ぎについて	<p>管理権限、パスワード以外に引き継がれる内容の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去のアクセス計測ツールや専用運用ツールの引き継ぎ発生の有無 	<p>特にありません。</p>
18	仕様書p4-6-(3) SNSアカウントの認知向上について	<p>KPIを設定するにあたり、現在のアカウントのインサイトを提供いただくことは可能か。</p> <p>リーチ、インプレッション、エンゲージなどに加え、閲覧者やフォロワーのでモグラ（エリア、年齢層他）（原文ママ）等、可能な範囲でご教示いただきたい。</p>	<p>問11の回答を参照ください。</p>

項番	項目	内容	回答
19	提案書作成要領 p2-(8)	<p>必要書類の提出方法について 提案書作成要領（8）ページ番号(要領抜粋)において、「提案書には、表紙、目次および様式2、様式3を除き、ページ番号を一連で付してください。」との記載があるが、ここでいう様式2「提案協議参加申請書」および様式3「見積書」について、ご教示いただきたい。</p> <p>1. 様式2および様式3は、提出提案書本体に包括して綴じ込み(ただしページ番号は付さない)にて提出する想定か。それとも提案書とは別資料として提出する想定か。</p> <p>2. 併せて、様式4「配置計画書」の提出方法について、提案書本体に包括して綴じ込み(ただしページ番号は付さない) 提出する想定か。あるいは、様式2・様式3と同様に、別資料としての提出を想定しているか。</p>	<p>様式2、様式3及び様式4は、提案書とは別資料として提出してください。</p>
20	仕様書p4-6-(3) SNSアカウントの認知向上について	<p>1. 発注者側が指定する具体的なKPIの目標数値 2. 現在のアカウント運用実績を示す数値 3. 具体的な課題点</p>	<p>KPIについては、仕様書に記載のとおり、アカウントの認知向上に資する取組みとあわせて、事業効果を評価する指標としてご提案をお願いします。</p> <p>アカウント運用実績については、問11の回答を参照ください。</p> <p>主な課題については、アカウント立ち上げから1年未満であり、さらなる認知向上と自然流入促進に向けた取組みが必要と考え、本業務を実施するものです。</p>